

# あの大地震災から何を学ぶのか？

## ～東日本大震災とこれからのコンクリート技術～

主催：日本コンクリート工学会 中部支部 共催：北陸三県コンクリート診断士会

東日本大震災から 1 年半が経過し、この震災によるコンクリート構造物の被害状況が明らかになってきています。現在、震災からの復旧・復興に向けた取組みも始まっておりますが、今回の震災による被害の状況を考慮した対策が求められています。我々コンクリートに携わる技術者は、東日本大震災によるコンクリート構造物の被害の特徴を適切に把握するとともに、これからの対策に関する見識を深めることが必要不可欠です。

本フォーラムでは、我が国のこれからの国土づくりについての見識を深めるとともに、東日本大震災によるコンクリート構造物の被害の特徴やこれからの対策について、建築・土木の両分野から理解を深めます。また、コンクリートによる放射性物質の封じ込め技術の知見も広げます。

コンクリート診断士をはじめ、コンクリートに携わる多くの方々のご参加をお待ちしております。

### 記

1. 開催日時 平成 24 年 11 月 30 日(金) 13:00～17:20 (12:30～ 受付)
2. 開催場所 福井県織協ビル 8 階ホール (福井市大手 3 丁目 7-1 福井駅から徒歩 5 分)
3. 参加費 1,000円 (当日、受付にて徴収いたします。)
4. C P D 主催者(日本コンクリート工学会)による CPD 受講証明書を発行予定です。
5. 懇親会 フォーラム終了後、同ビル内で、懇親会も開催いたします。(参加費4,000円)
6. 申込期限 平成 24 年 11 月 22 日(木)  
ただし、定員(160 名)になり次第、締切ります。お早めにお申込みください。
7. 申込み先 下記の申込み先まで、FAX もしくはメールにて。  
〒464-8603 名古屋市千種区不老町 名古屋大学大学院工学研究科内  
公益社団法人日本コンクリート工学会 中部支部 (担当：ウイジェコーン)  
「東日本大震災とこれからのコンクリート技術」係  
TEL/FAX:052-789-4635 E-mail:branchi\_chubu@jci-net.or.jp

# 東日本大震災とこれからのコンクリート技術

## 開催プログラム

- 13:00～13:05 開会  
開会挨拶
- 13:05～14:25 特別講演  
「レジリエントな国土の創造へ 一大震災を経て問われる日本人の覚悟―」  
((財)国土技術研究センター 理事長 大石 久和 氏)
- 14:25～14:35 <休憩>
- 14:35～15:25 東日本大震災とこれからのコンクリート技術・・・土木構造物編  
「東日本大震災で被災したPC橋の調査報告とこれからの対策」  
((社)プレストレスト・コンクリート建設業協会 技術部会 部会長 西垣 義彦 氏)
- 15:25～16:15 東日本大震災とこれからのコンクリート技術・・・建築構造物編  
「東日本大震災による建築構造物の被害状況とこれからの対策」  
(福井大学大学院 工学研究科 建築建設工学専攻 准教授 磯 雅人 氏)
- 16:15～16:25 <休憩>
- 16:25～17:15 東日本大震災とこれからのコンクリート技術・・・放射性物質封じ込め技術編  
「コンクリートを用いた放射性物質の封じ込め技術と今後の展望」  
((独)国立環境研究所 資源循環・廃棄物研究センター フェロー 山田 一夫 氏)
- 17:15～17:20 閉会挨拶  
閉会

※ 本プログラムのタイムスケジュールは、都合により変更する場合があります。

公益社団法人日本コンクリート工学会 中部支部

「東日本大震災とこれからのコンクリート技術」係 御中

FAX: 052-789-4635 / E-mail: branchi-chubu@jci-net.or.jp

## 東日本大震災とこれからのコンクリート技術 参加申込書

所属

---

住所

---

電話番号

---

↓○で囲ってください↓

出席者 氏名	E-mail アドレス	フォーラム (参加費 1,000 円)	懇親会 (参加費 4,000 円)
		出席・欠席	出席・欠席

定員(160名)になり次第、締め切りますので、どうぞお早目にお申込みください。